

岐阜県の プラスチック

新年互礼会を開き、組合創立30周年の記念表彰
記念講演会では「21世紀日本人への提言」を聞く
検定合格者（1級5人、2級17人）に証書伝達
写真で見る5年間の工業組合活動
平成9年のプラスチック製品出荷額3,196億円
デザインの心-22
組合員の工場訪問・天龍工業(株)
事務局だより

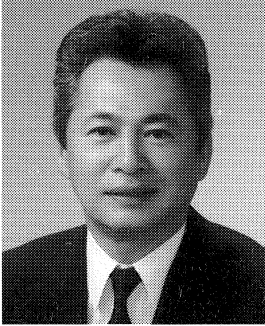
組合創立
30周年記念
特集号

来賓を迎えて新年互礼会と記念表彰式を行う



創立30周年記念の節目を希望の年に

新世紀に向けて問題解決を



岐阜県プラスチック工業組合
理事長 大松 利幸

平成11年、あけましておめでとうございます。組合員、賛助会員、さらには関係機関各位の皆様方、当工業組合の活動に対して引き続きご協力と、ご指導を賜わりますことをお願い申し上げます。

この年頭に当たり思いめぐらしめることは、プラスチック産業の前に立ちまはる『環境への影響』など数々の問題点で、新世紀に入るに当たり問題の摘出と解決に取り組まねばならないことです。プラスチック産業は社会の隅々まで貢献し、鉄鋼業と並ぶまでに発展を遂げているだけに、関心と責務を負わねばなりません。その動きとして、容器包装リサイクル法の完全施行を前に容器包装業界は緊張感を高めておりますが、容器包装業界以外の塩ビパイプ継手業界も危機感を募らせ、全国10ヵ所で処理業務の組織化を進めております。

成形加工のコストに、大きく影響を与える原料調達面にも動きがあります。急速に進むグローバル・コンペティション（世界的な競争）に向け、川上原料メーカーは合従連衡を繰り広げております。あれよあれよという間にメーカーは合併し、新会社や合併会社も生まれています。さらに進むと思われ、もはや原料調達面においても国内のみならず『海外調達という選択肢』を持たざるを得なくなってきました。

続く問題は、新しい素材・技術・デザイン等の研究開発にあります。業界の閉塞状態は、長引く不況の影響にもよりますが、最大要因は業界そのものに新しい素材や技術開発、それによる新製品開発が進んでいないからです。コストダウンや収益増加を図ることも大切な経営課題ですが、技術や商品の開発・研究無くして業界の将来はありません。

最後になりましたが岐阜県プラスチック工業組合は『創立30周年』の節目を迎えたところです。厳しい不況の折り、華やかな式典や行事は自粛いたしますが、その意義を汲み取り、新世紀に向かって飛躍するのにふさわし『希望の年』にしたいものです。

功労者表彰と講演と懇親会

創立30周年記念の新年互礼会を開く

組合活動を軸に不況克服を誓う

工業組合は1月26日午後、岐阜市内にあるホテルグランヴェール岐山で『新年互礼会』を開催し、招いた来賓や賛助会員と和やかに交流・懇親を深めた。今年度は工業組合創立30周年に当たることから、互礼会に先立って組合功労者表彰式を行い、組合活動の一層の充実と発展を誓った。続いて『21世紀日本人への提言』をテーマにした講演や来賓あいさつを聞いたが、不況克服への秘策や明るい話題の提供で組合員は励まされた。

また、恒例の『技能検定合格証書伝達式』を行い、今年度のプラスチック技能検定試験に合格した1級5人、2級17人の前途を祝った。

総勢100人が参加

今年の新年互礼会に参加した組合員は50人、これに来賓15人、メーカー・商社で構成する賛助会員15人、さらに技能検定合格者が加わり、総勢100人を上回る賑やかなパーティーとなった。

新年互礼会は、児玉副理事長の「組合活動30年の歴史をバネとしさらに飛躍したい」の開会の言葉、続いて大松利幸理事長のあいさつで始まった。

「国際的な大競争時代に…」

大松理事長の新年ごあいさつ

大松理事長は「プラスチック業界の現況を一口でいうと、今や国際的な大競争時代に入り、すでに原材料業界は突入している。成形メーカーは比較的の良いといわれるものの、この波を被り、転廃業する企業が出始め、組合員数も減



新年互礼会で参加者にあいさつする大松工業組合理事長

少傾向にある」と前置きし「供給過剰、需要の減少、構造調整…どの観点から見ても、今年も厳しい年になるだろう。かといって暗い話ばかりしては前進できない。新しい技術開発、新しい製品づくりに取り組み、企業はもとより業界ぐるみの差別化を図り、競争力を身につけることが何よりも大切である。それには工業組合を核に組合員へ、国・県の施策や試験研究機関の技術指導の輪を結び付けていけば、必ず良い方向を見出せる」と呼びかけた。

通産局長表彰に篠田監事、知事表彰は大松理事長

—— 功労者表彰・中央会表彰は青年部役員として活躍した5人 ——

工業組合は、新年互礼会に先立って創立30周年記念の組合功労者表彰を行った。これまで5年目ごとに創立記念の式典を開催してきたが、今日の経済環境は極めて厳しいことから、恒例の互礼会にとどめ、その席上で功労者表彰をすることにした。

次は被表彰者（敬称略）で、中部通商産業局長表彰は竹中俊昭・機械基礎産業課長から、岐阜県知事表彰は久富義郎・商業振興課長から、岐阜県中小企業団体中央会長表彰は辻正会長からそれぞれ手渡された。

《中部通商産業局長表彰》

▽篠田 哲（岐阜技研ポリマー(株)代表)

《岐阜県知事表彰》

▽大松 利幸（岐阜プラスチック工業(株)代表)

《岐阜県中小企業団体中央会長表彰》

・青年部役員功労・

▽武藤 幸平（(株)武藤化成工業所代表)

▽服部 昭元（(株)服部樹脂代表)

▽日比 勝次（大垣プラスチック工業(株)代表)

▽佐藤 勇雄（岐東化成(株)専務)

▽長谷 典雄（信和工業(株)代表)

▽久世 幸博（(有)久世樹脂工材代表)

・職員功労・

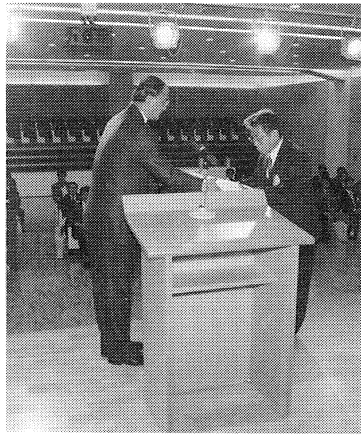
▽岩津 文子（工業組合事務局)

《岐阜県プラスチック工業組合理事長表彰》

・役員功労・

▽清水 昭市（(有)清水樹脂代表)

▽児玉 俊一（コダマ樹脂工業(株)代表)



上左は通産局長、上右は県知事、下は中央会の各表彰

▽大野 實（(株)東海ポリエチ工業所代表)

▽杉山 元彦（パール化成(株)代表)

▽武藤 幸平（(株)武藤化成工業所代表)

▽日比 勝次（大垣プラスチック工業(株)代表)

▽林 貢一郎（岐阜産研工業(株)代表)

▽岡部 修二（シーシーアイ(株)代表)

▽田部 将行（天龍工業(株)監査役)

▽松田 興市（ムトー精工(株)常務)

・技能検定功労・

▽関谷 裕彦（(財)県研究開発財団副理事長)

▽乙部 貞夫（県工業技術センター研究員)

▽石樽 芳直（県工業技術センター研究員)

▽中川 徹（元技能検定首席検定委員)

▽可知稀久也（岐阜プラスチック工業(株)係長)



来賓を囲み受賞者らの記念撮影

「自分で守り抜く意欲を…」

来賓を代表し3氏があいさつ

表彰式に続いて来賓として招いた竹中俊昭中部通商産業局機械基礎産業課長、久富義郎岐阜県商工労働部商業振興課長、辻正岐阜県中小企業団体中央会会長からごあいさつがあった。

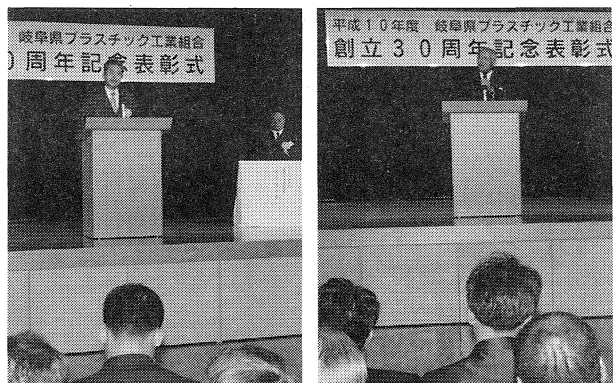
竹中機械基礎産業課長は「2年続きのマイナス経済成長率となり、産業界は不況にあえいでいる。このため国は2回にわたる経済対策で総額30兆円、年間予算の実に40%の特別予算を組み、景気回復へ全力を挙げている。成果はこれからで、なんとしても3年連続マイナスだけは避けていくのに必死である。業種によっては明るさが出始め、プラスチック成形業界もこの機を逃さず不況を克服してほしい」と、また

久富義郎商業振興課長は「30年間にわたる事業活動は、業界の振興に大きな役割を果たし、年間の生産出荷額3,200億円、中分類22業種のうち6番目の産業へと、すばらしい成長を遂げられた。なお一層、充実した組合活動の展開に努力していただきたい。県としても、当面は景気の回復、とくに金融事業を重点に進め、さらに環境対策にも万全を期し、21世紀をにらんだ県政を推進していく方針なので、理解と協力をお願いしたい」と話した。最後に、

辻正中央会会長は「不景気、不景気とやかま



あいさつする中部通産局の竹中俊昭課長



県の久富義郎課長と辻正中央会会長

しいが、不景気と戦争のどちらがよいかというと、誰もがいくら不景気でも戦争のない平和を選ぶ。混乱のない平和な社会があることを思えば、不景気という荷は軽くなる。最近、東京や神奈川の経営者グループと話をしたが、その時“都庁や県庁へ行ったことがない”という。確かに政治や行政は大事だが、企業がそれに頼るような事ではいかん。不況の時こそ自分の力で守りぬく、意気込みがほしい」と、激励した。

記念講演『21世紀日本人への提言』を聞く

「創業時の姿勢を忘れるな」

松下政経塾塾頭だった上甲晃さんの話

かけて有名人を気取ったり車を呼べ、とすぐ横柄になる人がいる」

工業組合が行った新年互礼会の第二幕は記念講演会。講師は松下政経塾の塾頭として活躍された上甲晃氏（志ネットワーク代表）を招き「21世紀日本人への提言」をテーマに人づくりの話聞いた。次は講演内容の幾つかをピックアップしてみた。

「ここ10年、豊かな時代になってつくづく思うことは、何もなかったり失った時代の頃です。何もない時代は、這い上がり、豊かになろうと必死に努力した。一番、難しく危ないのは、何もなかった時代よりちょっと成功した時です。よくタレントに会う機会がありますが、少しギャラが増え名前が売れてくると、冬でもサングラスを

「タレントばかりか、経営者についても同じこと。創業の姿は謙虚ですね。問題は売上が増え、名前が通るようになってからです。謙虚さを失うと他ごとばかりに気を取られ、本業に身が入らない。支えてくれた人も離れていく。経営者が謙虚さを無くすると、もうそれ以上は大成しない。松下政経塾の松下幸之助さんは、主宰した会合が終っても帰らず、最後まで残り設営した会場の従業員に頭を下げ、お礼を言ってから帰られた。大成功者と小成功者との違いはここにある、と感じたのはこの時です」

「支えてくれた人々に、謙虚に頭を下げる。ますます偉大さが高まってくる。これが成り上がりとは違う本当の姿。傲慢な人は嫌われ、小成功者で終わってしまう。一流の経営者やリーダーは、みな謙虚です」

「どんな小さな仕事にも真心込め、常に初心にかえって取り組む。受注金額の大小によって態度が変わるような企業は成長しない。小さな仕事でも、大きな仕事と同じように大事にやれば、相手は認めてくれ、やがては大きな仕事につながってくる」

「儲からないといって、自分の都合ばかり考え、手を抜かない。顧客の都合で仕事をせよ。お客を犠牲にするような商売のやり方では、企業は見放され生き残れない。初心にかえり、小さな事にも目を配らねばこの不況を切り抜けることはできない」



「創業の姿を忘れるな」と力説する上甲さん

互礼会の席上で検定合格者を励ます

「 1 級 5 人、2 級 17 人を招き証書伝達 」

工業組合が新年互礼会の組合創立30周年記念表彰に続いて『技能検定合格証書伝達式』を行い、技能検定合格者の前途を祝った。

今年度のプラスチック技能検定試験は、1級が実技・学科ともで19人が受検、うち7人が合格（組合関係は5人合格）し、その合格率は36%であった。また、2級は実技・学科で44人が受検、うち22人が合格（組合関係は17人）し、合格率は50%とかなりよかった。合格者は次のみさん。



今年度の技能検定に合格した人々

《1級》

下出 真澄 (有下出化成)
山田 信次 (株武藤化成工業所)
横山 新仁 (ムトー精工株)
山岡 恭司 (岐阜プラスチック工業株)
三宅 正雄 (岐阜プラスチック工業株)

《2級》

灰野 嘉高 (西濃化成株)
斉藤 誠 (西濃化成株)
五島 昌良 (ムトー精工株)
辻 伸晃 (ムトー精工株)
尾形 義弘 (ムトー精工株)

黒田 茂 (コダマ樹脂工業株)
高木 祐介 (コダマ樹脂工業株)
中野 修 (岐阜プラスチック工業株)
廣中 雅博 (岐阜プラスチック工業株)
三上 克巳 (岐阜プラスチック工業株)
浅野 正和 (岐阜プラスチック工業株)
吉田 稔 (東北ムネタカ株岐阜工場)
村上 和弘 (ムトー精工株)
小野木守彦 (岐阜プラスチック工業株)
山本 潤一 (岐阜プラスチック工業株)
江崎 伸次 (岐阜プラスチック工業株)
近澤 正司 (東北ムネタカ株岐阜工場)

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE®

合成ゴムSBR

住友SBR®

合成ゴムEPR

エスプレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)
電話 <052> 201-7571

写真で見る5年間の工業組合活動

欧州視察や各種補助事業を実施 青年部は中国視察や研究会事業

岐阜県プラスチック工業組合は、昭和43年6月に創立し、今年度は『満30周年』の意義ある節目に当たる。この間、数々の組合事業に取り組み、プラスチック業界の振興・発展に寄与してきた。しかし、長引く不況や目まぐるしい社会・経済の動きの中で「どのような組合活動を展開すればよいのか」の新しい課題に直面していることも確かである。創立満30周年を機会に、組合活動の歴史を振り返り、新世紀へ向かってさらに飛躍したい。

岐阜県プラスチック工業組合の発祥と活動の歴史（概要）

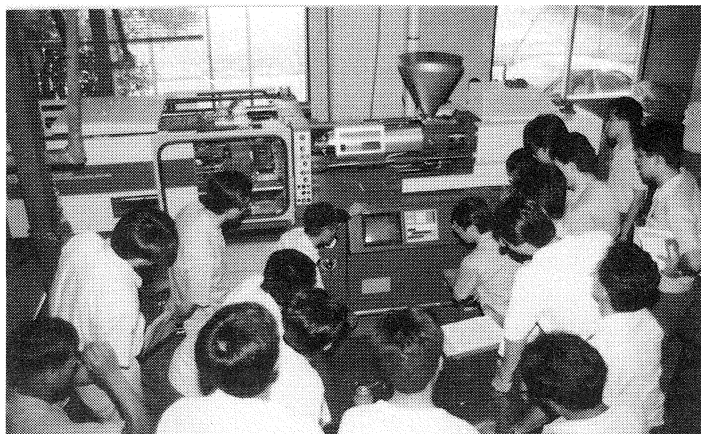
年 月	活動の特色	活動の概要と背景
昭和17年（1942） ） 昭和42年（1967）	発祥と協会時代	二次大戦時代の昭和17年ごろ、フェノール樹脂で電気部品を圧縮成形したのが始まり。大戦後、順次、成形業者が増え、昭和35年に協会を設立。
昭和43年（1968） ） 昭和47年（1972）	工業組合の創立	昭和43年6月8日、67企業が参加して「岐阜県プラスチック工業組合」を創立した。昭和45年には岐阜産業会館へ事務所を移転し、事業を開始。
昭和48年（1973） ） 昭和52年（1977）	オイルショック	石油危機による原料事情のひっ迫から業界は減速。組合員企業の経営を支援するため組合金融に取り組む。工業技術センターで技能検定を実施。
昭和53年（1978） ） 昭和57年（1982）	業界の安定成長	業界の成長を背景に、自動車ローンや活路開拓調査など組合事業を実施。昭和54年には組合創立10周年記念式典、昭和57年には産業フェア開催。
昭和58年（1983） ） 昭和62年（1987）	組合の発展充実	国際化に備え、中国へ合弁や技術協力の調査団を派遣。組合青年部も創立初事業として台湾を視察研修旅行。昭和60年には健康保険組合を設立。
昭和63年（1988） ） 平成5年（1993）	技術革新の時代	高機能樹脂や複合材料の登場と技術革新で、平成不況を吹き飛ばす。平成3年に製造出荷額3千億円を達成。平成5年に創立25周年記念式開催。
平成6年（1994） ） 平成10年（1998）	業界存亡の危機	阪神大震災に始まり、バブル、ビッグバン、政局混迷、さらに環境問題が押し寄せ、業界は存亡の危機に直面。新世紀に向け問題解決を迫られる。

検定会場は面目を一新

(平成6年)

工業技術センターの射出成形機・住友機種がSG/75に更新され、また、日精機種も圧力アップを行い、検定機種2機はそろって新鋭機種へと生まれ変わった。

さらに翌年、クレーンと照明設備が新設され、検定会場は面目を一新。受検意欲は高まった。



新型成形機の説明を受ける受検者

青年部が廃プラを研究

(平成6年)

組合青年部は「廃プラ利用と環境を考える」をテーマに補助事業・青年部研究会事業に取り組んだ。事業は各地の液化燃料装置の見学、懇談研究し、アドバイザーの意見を聞き、年度末には青年経営者としての考え方をまとめた。



クレーンと照明が整った検定会場

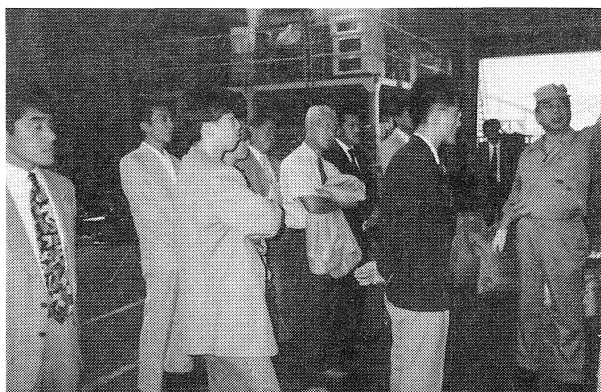
救援物資や義援金贈る

(平成7年)

新年早々、阪神地方を襲った大震災で未曾有の被害が発生した。組合では新年互礼会の席上で義援金を拠



インテックス大阪のプラ展を見学



研究会事業に取り組み視察する組合青年部



「味フェスタぎふ」へ出展した工組のコマ

出し合い、被災地へ贈った。

また、有志各企業は自社製の飲料水入りタンク、バケツ、各種ポリ容器を被災地の施設や家庭に贈った。

製品出荷額は 3 千億円

(平成 6 年)

県内プラスチック業界の製品出荷額は、平成 4 年に 3,271 億円を記録したが、平成 5 年に不況と円高の余波を受けてダウン、平成 6 年にはさらにダウンしし 2,972 億円と、3 千億円を割った。

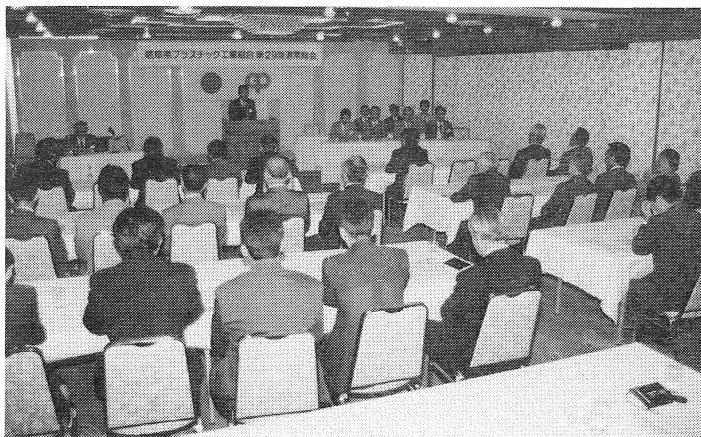
その後、県内地場産業の多くは後退を続けている中、プラスチック産業はいち早く脱出、7 年、8 年と順調に回復、平成 9 年には 3,196 億円となり、出荷額のピーク、4 年の記録へほぼ回復した。

意欲的に展示会へ出品

(平成 7 年)

飛騨で開催された全国食文化交流プラザ「味フェスタぎふ」へ工業組合として出展、プラスチック業界なりに食文化への提案を行った。

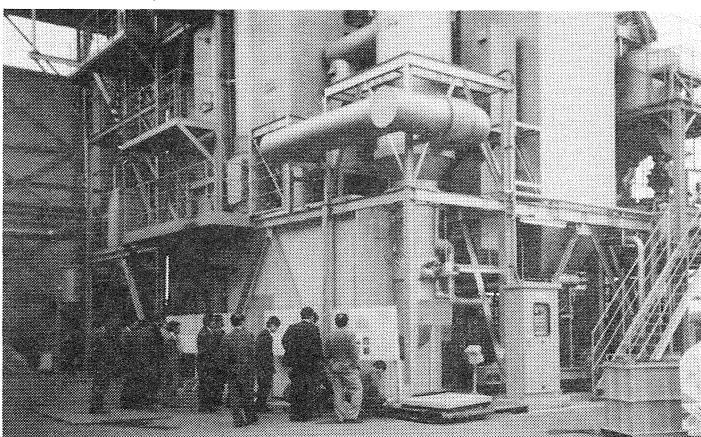
この他「世界ファッション工房 G



補助事業の実施を審議した総会



PETリサイクル工場を視察



最新の廃棄物溶融プラントを視察

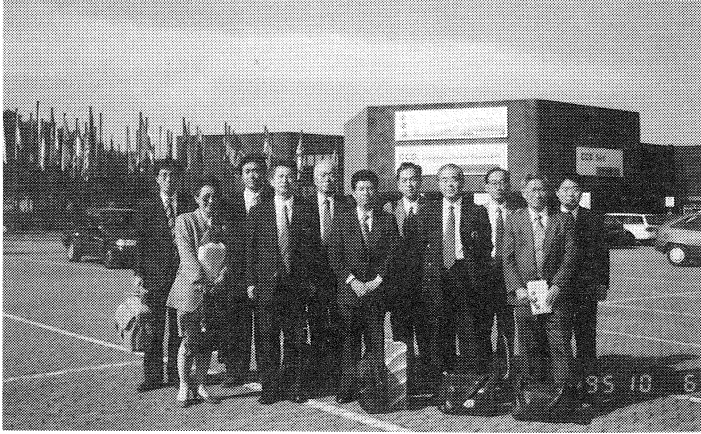


幕張メッセで開かれた国際プラ展を見学



組合加入を呼びかけたパンフ

K見本市と欧州経済事情を視察



I F U)「全日本プラスチック日用品フェア」「名古屋プラスチック工業展」などへ企業別に参加した。

K見本市へ視察団派遣

(平成7年)

大松利幸理事長を団長とする10人で「欧州産業視察団」を編成し、ドイツ・デュッセルドルフで開かれた「K見本市」を見学、また、関連企業や経済事情を視察・懇談した。その成果を報告書(40頁)とした。

賛助会員らを招きゴルフ大会



賛助会員を招いて互礼会

(平成7年)

平成5年、県外の樹脂や機械・機器メーカーとの交流を図る賛助会員制度を発足させた。さらにこの年からは恒例の「新年互礼会」や「親睦ゴルフ大会」にも参加してもらい、組合員と賛助会員との交流・連携を一層図っている。

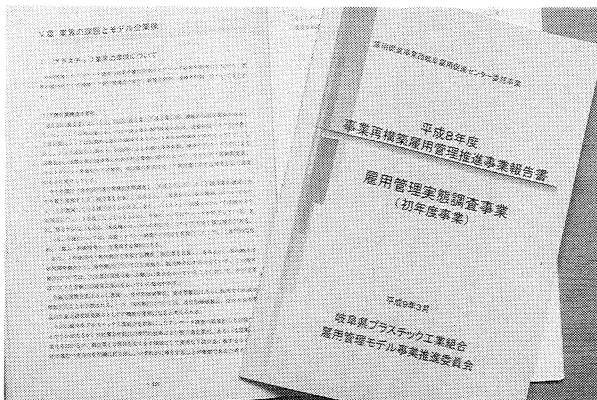
生産管理のモデル工場を見学



事業再構築推進に着手

(平成7年)

平成7年度から2カ年継続事業として労働省の補助事業「事業再構築



事業再構築事業の最終報告書



週40時間を達成した時短報告書

工業高校の就職担当者を招き懇談



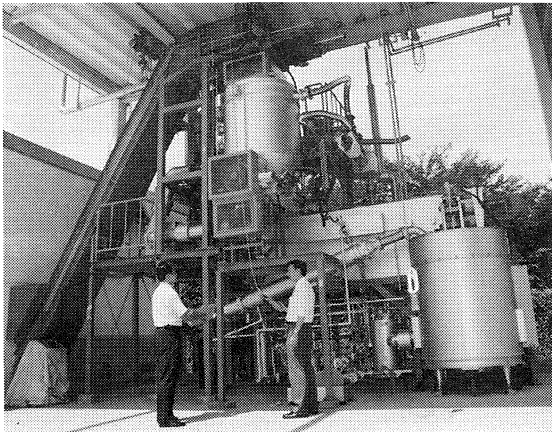
香港と中国を視察した組合青年部



多かつた平成8年度の検定合格者



リスパックの油化プラント



雇用管理推進事業」に取り組んだ。実態調査に始まり、先進事例の研修や工場見学、ペットボトル処理工場視察、工業高校の就職担当者との懇談、東京ビックサイトで開かれた日用品フェア視察など種々の事業を行い、最後に結果報告会を開催、モデルグループの成果と助成事業の説明で事業を締めくくった。

青年部が中国研修旅行

(平成8年)

組合青年部は9月に海外視察旅行を企画、中国返還直前の香港と工業化が進む中国の深圳を視察した。

とくに中国では深圳経済特区にある蛇口工業地区のプラスチック成形や家電工場を視察・懇談するなど、国際社会のめまぐるしい動きを肌感じて帰国した。

廃棄物処理と再資源化

(平成10年)

5月総会の席上で「プラスチック廃棄物処理と再資源化問題検討委員会」の設置を決め、大松理事長が委員11人に委嘱状を手渡した。



八幡化成は全日本日用品フェアで長官賞を受賞

定期的に会議を開いて、プラスチックの廃棄物処理、再資源化、関連する問題で協議し、工業組合としての方針や考え方をまとめていく。

人材高度化事業に着手

(平成10年)

労働省の補助事業「人材高度化支援事業」に取り組み開始した。事業は「製品の付加価値化や事業の新分野への展開を担える人材の育成」を組合ぐるみで推進していくのがねらい。初年度は意識調査などの準備事業で、2年度目の平成11年度から、具体的な訓練事業に入っていく。

富山業界と交流・懇談

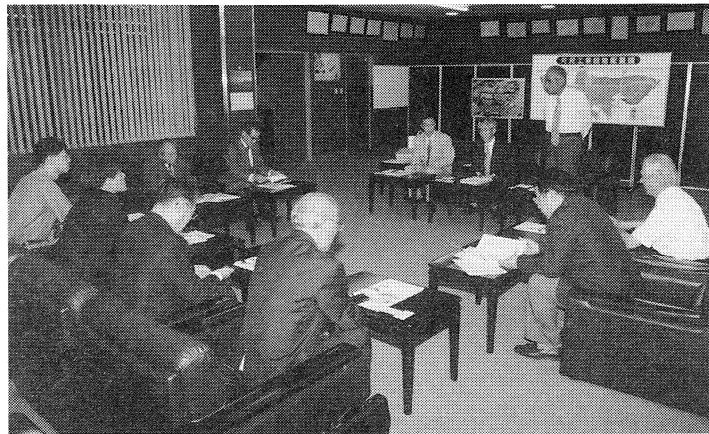
(平成10年)

10月に富山県プラスチック工業会の一行（渡辺信安会長ら23人）が来県し、大垣市で日比勝次副理事長ら工業組合関係者と交流した。

具体的な懇談の後「岐阜と富山は同じ中部圏にありながら疎遠になりがち。やがて全通する東海北陸自動車道を活用し、本当の交流をしよう」と申し合わせた。



廃棄物処理と再資源化委員委嘱



人材高度化事業の可児団地視察



来県した富山県プラ業界と交流



平成9年の新年互礼会。組合員に來賓、賛助会員、技能検定合格者が加わって記念撮影

出荷額3,196億余円を記録

平成9年のプラスチック生産額

前年に比べてわずかながら増加

岐阜県がまとめた『平成9年工業統計』によると、プラスチック製品を製造する事業所数は883事業所、その従業者数は1万3,231人、年間製造出荷額は3,196億9,529万円を記録した。前年に比べて事業所は1.0%増加、従業者で0.5%増加、出荷額では0.6%と、わずかながら増加したものの、付加価値額は残念ながら、3.0%の減少となった。

岐阜県のプラスチック業界は、長引く不況にかかわらず出荷額3千億円台を維持し、県内主力産業としての揺るぎない基盤を整えている。

法人対個人の比率 が半々近くに迫る

まとまった平成9年の工業統計調査は最新の数字で、前年（平成8年）にプラスチック業界が記録した実績と比較すると。

《事業所》事業所数の883事業所は9事業所の増加。県内各産業は非鉄金属、繊維、衣服、窯業、木工、製紙などの大半の業種が減少したのに対し、プラスチックは1.0%ながらの増加でまずまずの状況だった。県全体の事業所数は22,088事業所、前年に比べて3.1減少。これで平成4年から6年間連続の減少となった。規模別には、従業者9人以下が634事業所も減少、急速に転廃業が進んだ。

プラスチック製品製造業を組織別にみると、会社法人が436事業所、個人企業は447事業所で、会社法人対個人企業の比率を見ると、6年前が38対62で大きく開きがあったのに対し、今回の調査では49対51と半々に迫った。

岐阜県内プラスチック業界の規模

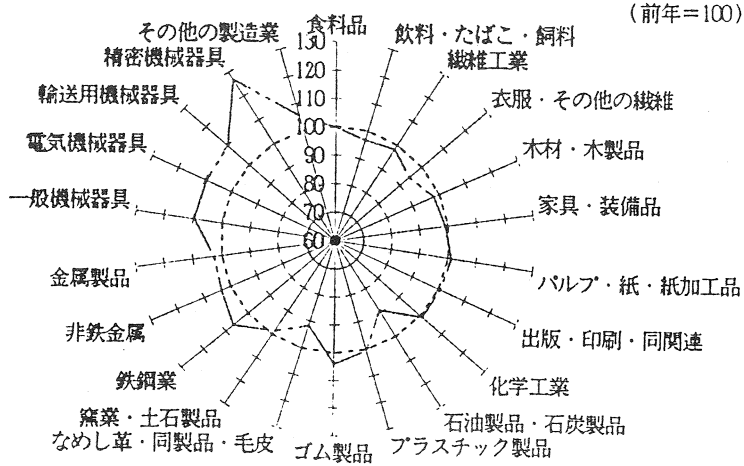
（平成9年工業統計調査から）

- ◎事業所数……………883事業所
（会社法人436、個人447）
- ◎常用従業者数……………1万3,231人
（男7,573人、女4,975人）
（個人事業主と家族従業者683人）
- ◎製造品出荷額……………3,196億9,529万円
（全工業出荷額に占めるウエートは5.7%）
（岐阜県産業別の順位は6位）
- ◎付加価値額……………1,273億0,063万円
（1人当たりの付加価値生産額は962万円）
（岐阜県産業総平均では877万円）

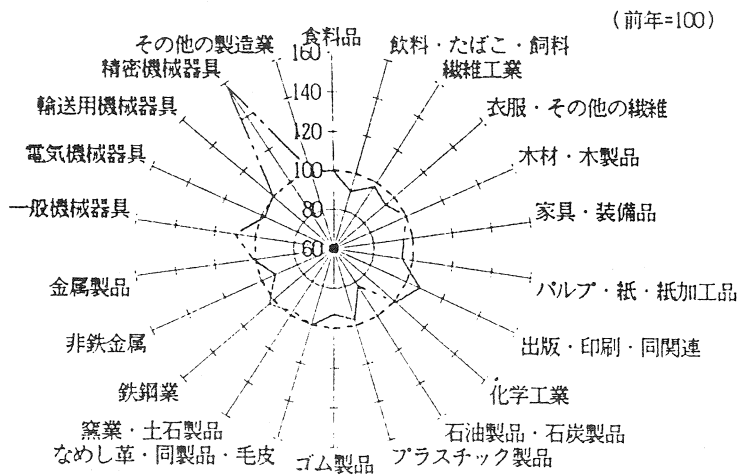
県全体の従業者数は6年連続減

《従業者》プラスチック産業の事業所に働く総従業者数は、1万3,231人で、前年より0.5%60人の増加であった。理由は事業所の増加によるものとみられる。常用労働者数は1万2,458人（男7,573人、女4,975人）で、個人事業主および家族従業者数は683人（うち男432人、女

産業中分類別製造品出荷額等の前年比較



産業中分類別付加価値額の前年比較



実に保ち、これまでのピーク平成4年の3,271億円へあと一息に迫った。

前年に比べ19億2,700万円(前年比0.6%)であるが増加した。

県内工業に占める構成比は5.7%で、その順位は①電気機械器具②一般機械③輸送用機械器具④窯業土石⑤金属製品⑥プラスチック⑦パルプ・紙⑧繊維⑨食料品⑩化学工業となり、プラスチックは繊維、衣服、パルプ・紙などの業種を抜き6位を確保した。

岐阜県全体の製造品出荷額は5兆5,888億円で前年に比べ1,896億円(3.5%)の増加で平成3年のピーク時に比べて92.1%まで回復している。

業種別には電気機械器具、一般機械器具、輸送用機械器具の伸びが目立ち、繊維、衣服、窯業・土石などの地場産

業が大きく減少した。

地域別の構成比は①岐阜地域27.6%②大垣地域21.8%③可茂地域18.8%—の順で、この3地域で全県の約7割を占めた。増加したのは大垣、可茂、岐阜の3地域が目立ち、飛騨と東濃西部は減少した。

県全体の従業者数は平成3年の29万1,125人をピークに年々減り、平成9年は4,253人(1.6%減)減少、6年間の連続減少となった。平成9年の総従業者数は25万4,028人となった。とくに窯業・土石、衣服、繊維などの地場産業関連業種の減少が目立ち、一方、一般機械器具、食料品、精密機械器具などは増加した。

プラスチックは県内工業の6番目

《製造品出荷額》プラスチック業界の製造品出荷額は3,196億9,529万円で、3千億円台を確

平均付加価値額の県順位は8位に

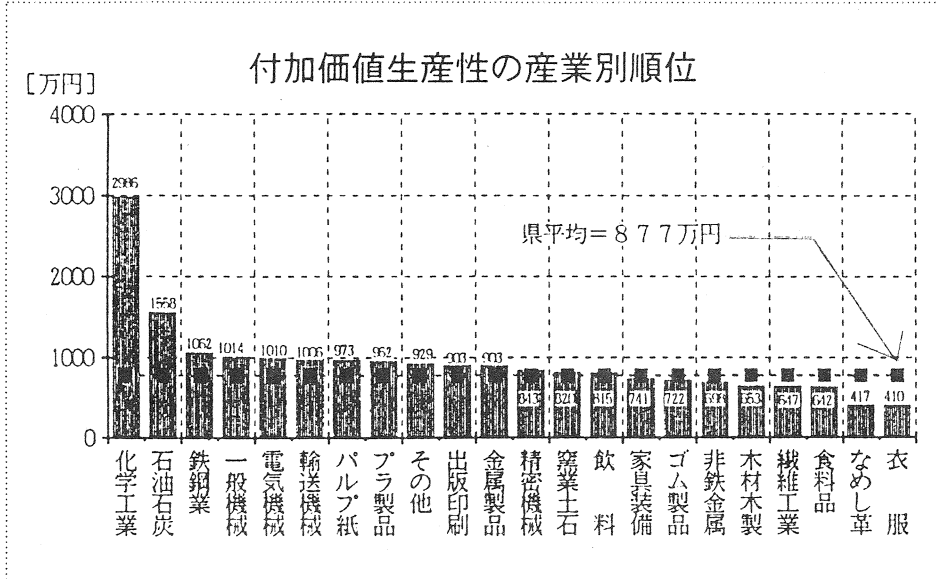
《付加価値額》プラスチック業界の生産加工能力を示す付加価値額(製造品出荷額から加工賃収入額と修理料収入額を差し引いた額)は、1,273億63万円で前年より3.0%減少し、県内工

業に占める構成比も5.7%と率をやや下げた。

また、プラスチック業界の労働生産性(従業員1人当たりの製造品出荷額)は2,416万円で県平均の2,200万円を上回った。1人当たりの付加価値生産性は962万円で、前年に比べて

3.0%後退したものの、県平均を85万円上回った。

県全体の付加価値額は、総額2兆2,290億円で1人当たりの付加価値額は877万円で、ほぼ前年並みだった。



付加価値額の業種別順位は①化学工業②石油石灰③鉄鋼業④一般機械器具⑤電気機械器具⑥輸送用機械器具⑦パルプ紙⑧プラスチック製品⑨その他⑩出版印刷一の順で、食料品、繊維、衣服、窯業土石は大きく後退した。

工組のホームページ

新年度発信に備え作成を急ぐ

工業組合は岐阜県中小企業団体中央会がすすめる『中小企業情報創造発信強化支援事業』に参加し、インターネット向けのホームページの作成を急いでいる。

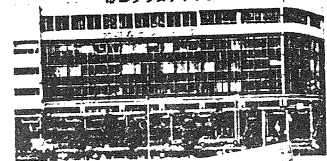
この事業は中小企業の情報発信機能を強化し、企業に出会いの機会を拡大していくのがねらいで、中央会傘下の各組合は今年度中にホームページの作成を終り、新年度のスタートに備えていく。

作成を急いでいる『岐阜県プラスチック工業組合のページ』は①業界の概要紹介②組合員事業所の紹介をした後、工組ホームページに参加した14組合員企業を個別に①事業内容②主要設備③生産品目④アピールポイントなどを紹介し、最後にメールを受け付けるというもの。

岐阜プラスチック工業株式会社

～環境創造型企業として、ヒューマンな事業活動を展開していきます～

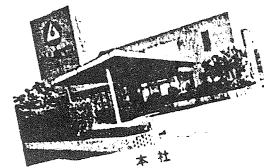
〒代領番名 大松 利幸
 出所在場 〒500-8721
 岐阜市神田町9丁目25番地
 大岐阜ビル6階
 電話 tel (058)265-2232
 ファクソ fax (058)265-2479



ムトー精工株式会社

～プラスチック部品・金型のムトー精工 もっと飛躍・もっと創造～

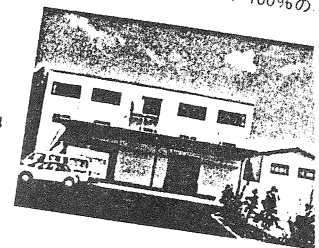
〒代領番名 山口 功
 出所在場 〒501-3941
 岐阜各務原市穂苅
 電話 tel (058)21-60-1
 ファクソ fax (058)21-60-1



株式会社川瀬樹脂工業

～TRY NEXT.FRY TOGETHER 100%の

〒代領番名 川瀬 保雄
 出所在場 〒503-0011
 岐阜県大垣市曾根町1丁目686番地
 電話 tel (0584)27-2566
 ファクソ fax (0584)27-5956



個別組合員のホームページのコピー

デザインの心-22

続・ドムスアカデミーデザインセミナー

岐阜県プラスチックデザイン協会

前回(143号)は、9月に行われたオープンセミナーとクローズドセミナーについて紹介したが、今回は昨年11月に実施した成功事例研究「イタリアの企業とデザイナー」についてALIAS社(イタリアの家具メーカー)の取締役の話を紹介することにした。

◆チームワーク(協力体制)

ものが出来上がる背景には、必ずチームワークが存在する。ここでいうチームワークは、企業経営者とデザイナーが組むチームである。

企業経営者は、いくら素晴らしい企画をしても、デザインをしてくれる人がいなければ困る。また、デザインする過程で経営者の企画が批判されたり、評価されることがないと経営者は先走りしてしまうこともある。逆に企業経営者がデザイナーに余りにも自由裁量を与えすぎて、会社のめざすものとは違う方向に行くこともあるので、協力体制を組むことがとても大切になってくる。

◆デザイナー(フリーランサー、多才)

イタリアのデザインには大きな特徴がある。当然、経営者とデザイナーが共同で仕事をしながら、生産性を高めていくという背景がある。イタリアのデザイナーは、ほとんどのデザイン分野で、インハウスデザインではなく、フリーランサーとして外部契約している。これが特徴で、デザイナーにとって、大きなメリットになっている。

様々な業界で経験を積む、また、業界の実態を目の当たりに見ることにより、異業種の経験を他の業界に活かすことができる。また、比較対照もでき、デザイナーとしての文化も豊かに

はばたかせることが可能になる。

ほとんどのイタリアのデザイナーは建築家である。しかし、建築学部を出て建築の仕事に携わっているだけではなく、工業デザインもするし、コミュニケーション、広告宣伝のイメージづくりにも、ビジュアルイメージづくりにも関わるし、さらにはグラフィックデザインまでこなしてしまうことである。

◆企業とデザイナーの関係

(パートナー、自己責任)

イタリアの企業とデザイナーの関係、また、経営者とデザイナーの関係は、あくまでスポットの契約に基づいている。そこには終身雇用というような、義務関係はない。双方がお互いによいパートナーを自由に選ぶ。結婚するのも自由だけれど、気が合わなかったり、文化が違うと思ったり、価値観が違えば自由に離婚もできる。長期的にあるデザイナーと企業との関係が続いているということはお互いにメリットがあり、同じ価値観を持っているという検証にもなる。

イタリアではほとんどの場合ロイヤリティー契約で、同じメカニズムが働く。デザイナーは市場で売れる商品を作らないと、ほとんど無給という状態になってしまう。

ところがインハウスデザイナーは、売れようが売れまいと、どちらにしても給料だけは確保できるので、真剣度が違うかもしれない。こういった経済のメカニズムから、イタリアのデザイナーは真剣に売れる商品を作ろうと努力するわけである。

(岐阜県商工労働部工業振興課デザイン振興係)

シートとFRP技術を軸に領域の拡大へ

天龍工業株式会社



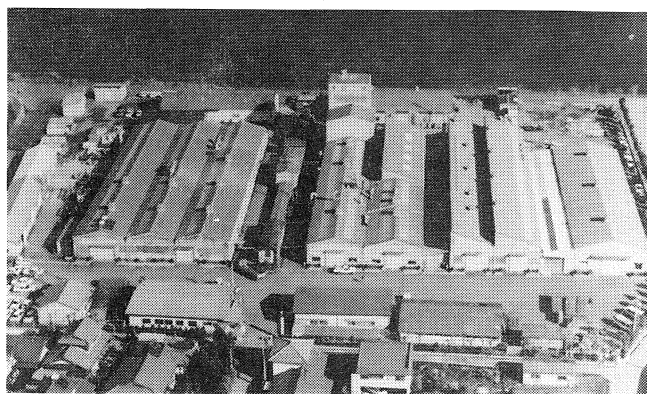
福西社長 亜町、福西紀雄社長、従業員710

新年初の組合員訪問は、バスをはじめとする乗物用シートやFRPの成形で全国に知られる天龍工業株式会社（本社各務原市蘇原興

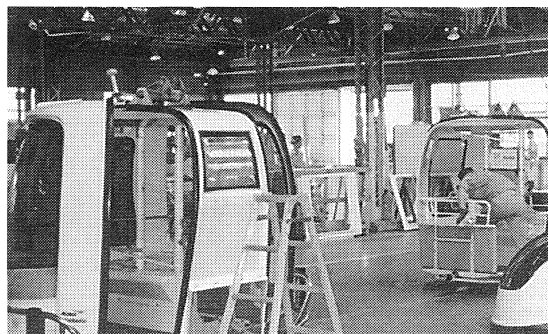
人、資本金5億7,200万円）を訪ねた。
 本社と本社工場は、JR高山本線沿いの蘇原駅北側にある。その本社に、工業組合担当の元常務、現在は監査役の田部将行さんを訪ねると「当社の創業は昭和21年、今年は53年目です。創業時から大切にしてきたことは“お客さま第一、一流の品質”をめざしてきたことです」と前置きし、各事業部門の概要を説明する。

いつも新しく、いつまでも新しく

事業の4本柱は「シート、航空機、ハイブリット、環境緑化で、近年は相次ぐオリジナル製品の開発もあって特機事業が加わる5本柱を形成しつつある」という。歴史あるシート事業はバスに始まり、新幹線などの鉄道車両、航空機や船舶にいたるあらゆる乗物用シートを製造、今や全国トップのシートメーカーにのしあがっ



FRP関連の事業はこの川辺工場が拠点となる



FRP成形のゴンドラ

ている。最近では山梨リニア実験線のシートを開発・納品したことで話題になったが、そのテクノロジーは大きく評価されている。

シートに続くFRPは昭和32年からもう一つの工場、川辺工場（加茂郡川辺町中川辺）で行っている。最初は車両シートに使われたが、今は航空機、鉄道車両、宇宙機器の部材へと活躍の場を広げている。その成形方法はハンドレイアップやスプレーアップ法で始まり、フィラメント・ワイディング法ではFRPの新素材を開発、巻き取りコアーやローラーを生んだ。

さらには加圧したバキュームパック法、レジニンジェクション法、オートクレーブ法、SMC法へと技術を広げた。製品に応じた独自の技術と設備からは、車両用各種ユニット、ゴンドラリフト、ソーラーヒーターや複合材を使った大型レーダードームが誕生した。

最後に田部さん「創業以来、シートとFRPを主軸に培ってきた品質管理やシステムづくりはハイブリット、航空機、特機、さらには環境緑化の事業へと輪を広げ、快適さを人々に提供するまでに成長した」また「天龍工業が幅広い事業領域へ拡大できたのは、福西社長が日頃から強調する“いつも新しく・いつまでも新しく”の精神と柔軟な発想で全社員が取り組んできた成果…」と力説する。

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□新年互礼会へのご出席ありがとうございます□

新年の初行事・新年互礼会は、さる1月16日岐阜市内のホテルグランヴェール岐山（旧岐山会館）で開催しましたが、多数のご出席ありがとうございました。

今年度は創立30周年に当たりますが、不況の折りから、質素に記念表彰と記念講演を行い、最後に記念パーティーで親睦を深めたところがあります。とくに記念講演では、松下政経塾の塾頭として活躍された上甲晃氏を講師に招いて『21世紀日本人への提言』を聞きましたが、長引く不況克服への人づくりに大いに参考になりました。新聞論調によりますと「先行きにやや明るさ」とあり、経済や業界活動も兎のように野山を駆け回りたいものです。

□新年度総会は5月21日に行います□

工業組合は、1月16日に開催しました新年互礼会に先立って『新年初役員会』を開き、平成11年度の『第31回通常総会』を5月21日（金）に開催することにしました。

会場は新年互礼会と同じホテルグランヴェール岐山（旧岐山会館）で開き、新年度の事業計画など各種の議案審議をしていただきます。各組員員こそってご出席ください。

岐阜県のプラスチック

1999 145号

平成11年1月29日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号
（岐阜産業会館4階）

電話 (058) 272-7173

FAX (058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 井森 秀敏

創世ポリケム・パワー

質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニー



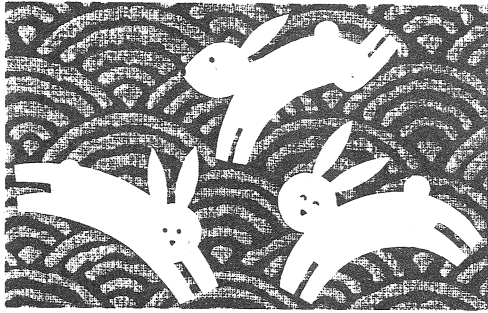
三菱化学と東燃化学との創造的な出会いから生まれたポリケムは、平成8年9月、質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニーをめざしスタートしました。ポリオレフィン樹脂のスペシャリストとして、国内では最大、世界でも有数の規模を誇るポリケムは、四日市・川崎・水島の3技術センターのそれぞれの特長を活かし、多種・多様で高品質のポリケム・バリューをお届けしてまいります。

技術と信頼の証 **ノバテック**
NOVATEC

NOVAは「新星」。
ポリケムは、常に先進の技術革新に取り組み、最新・最良の品質のポリオレフィン樹脂「ノバテック (NOVATEC)」をお届けします。

高密度ポリエチレン——— ノバテックHD
低密度ポリエチレン——— ノバテックLD
直鎖状低密度ポリエチレン——— ノバテックLL
直鎖状低密度ポリエチレン——— ノバテックC6
エチレン-酢酸ビニル共重合樹脂——— ノバテックEVA
ポリプロピレン——— ノバテックPP

ノバ 日本ポリケム株式会社 東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル 1100
TEL 03-3287-9010 FAX 03-3287-9040



迎春

本年もよろしくお願ひ申し上げます

平成11年 新春

岐阜県プラスチック工業組合

役員一同

リスのプラスチック 岐阜プラスチック工業株式会社

取締役社長 大松利幸

本社 岐阜市神田町9丁目25番地(大岐阜ビル6階)
〒500-8833 ☎(058) 265-2233(代)
生産本部 各務原市前渡東町4丁目222番地
〒504-0922 ☎(0583) 86-9311(代)



コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役社長 児玉俊一

本社 岐阜県安八郡神戸町末守377の1
電話(0584) 27-4141
支店 東京、大阪
営業所 本社、横井、福岡、仙台
工場 本社、横井、熊本、栃木、池田

ポリエチレンチューブ
農業用ポリエチレンフィルム



株式会社 東海ポリエチ工業所

代表取締役社長 大野 實

本社工場 岐阜県羽島郡岐南町野中 〒501-6004
TEL (058) 246-1313 番(代)
FAX (058) 247-2411 番
名古屋営業所 名古屋市西区城西3丁目5番4号 〒452-0841
TEL (052) 521-9296 番(代)
FAX (052) 532-1664 番



業務用食器一式・製造卸・治工具金型設計製作 大垣プラスチック工業株式会社

代表取締役社長 日比勝次

本社 岐阜県大垣市大島町2丁目394番地
TEL <0584> 81-1347(代)
営業所 名古屋市西区城西3-15-33
TEL <052> 932-3945(代)

岐阜産研工業(株)

代表取締役 林 貢一郎

樹脂事業部 射出成型
ギフト事業部 ギフト商品卸販売

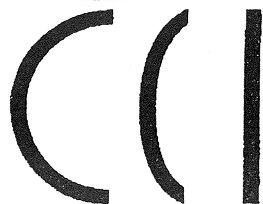
本社・工場
〒501-0555 岐阜県揖斐郡大野町
大字公郷六ノ坪 1403 番地
TEL (0585) 35-2511
FAX (0585) 35-2327

三光合成株式会社

岐阜工場

工場長 堺 茂 外

本社 富山県西砺波郡福光町遊部800
TEL 0763-52-2135
岐阜県安八郡安八町森部2454-1 〒503-0114
TEL 0584-64-3388
FAX 0584-64-4936



技術と工夫で
価値あるものを…

シーシーアイ株式会社

代表取締役社長 岡部 修二

岐阜県関市新迫間12

TEL(0575)24-4111 FAX(0575)24-4199

(有) 清水樹脂

代表取締役 清水 昭市

美濃市乙狩10-2

TEL 0575-37-2114

FAX 0575-37-2586

バス・航空機・車輛・船舶用各種座席、航空機部品
強化プラスチック、太陽温水器



天龍工業株式会社

代表取締役社長 福西 紀雄

本社 岐阜県各務原市蘇原興亜町4丁目1番地
TEL <0583> 82-4111(代)

各種プラスチックシート真空成型加工



パール化成株式会社 PEARL CHEMICAL PRODUCTS CO.,LTD.

代表取締役 杉山 元彦

本社工場 〒501-0473 岐阜県本巣郡真正町温井243-3
TEL (0583)24-9155(代) FAX (0583)24-6221
管理本部 〒500-8256 岐阜市八坂町40番地の1
岐阜工場 TEL (058)271-0861(代) FAX (058)275-0970



株式会社 フクシマ化学

姉妹会社

株式会社 ワコー

取締役 福島 康貴

(株)フクシマ化学 〒505-0052岐阜県美濃加茂市加茂野町今泉749
TEL0574-26-1138 FAX0574-26-1139
(株)ワコー 〒501-3918 岐阜県関市南天神2丁目1番26号
TEL0575-24-7038 FAX0575-24-7058



ムトー精工株式会社

代表取締役 山口 功

本社工場 〒509-0147 岐阜県各務原市鵜沼川崎町1-60-1
TEL (0583) 71-1100(代) FAX (0583) 82-4365
岐阜工場 〒509-0147 岐阜県各務原市鵜沼川崎町1-93
TEL (0583) 83-8311(代) FAX (0583) 83-1516
筑波工場 〒300-0315 茨城県敷郡阿見町香澄の里13-2
TEL (0298) 89-0800(代) FAX (0298) 89-0805

岐阜技研ポリマー 株式会社

代表取締役 篠田 哲

岐阜市岩地3-7-15

TEL <058> 246-2541

FAX <058> 246-2081



株式会社 武藤化成工業所

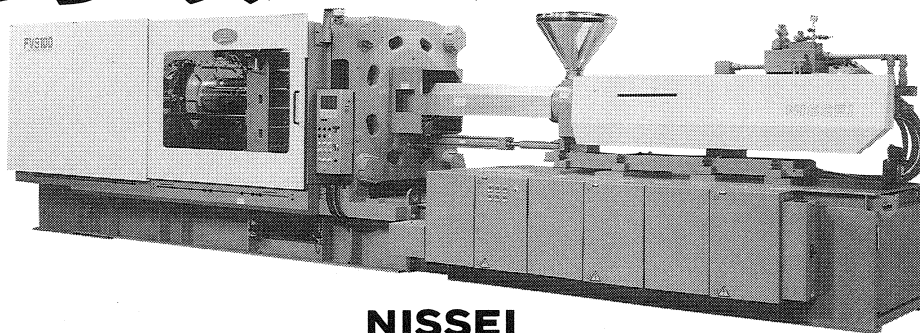
代表取締役 武藤 幸平

岐阜県武儀郡武芸川町跡部井口781 〒501-2605
TEL <0575> 46-3711 FAX <0575> 46-2285

時代を創る 時代に答える

私たちNISSEIは、射出成形機の専門メーカーとして、プラスチック成形技術の開発に努めてきました。
成形機を中心に金型・生産システムなど、技術の幅を広げ、国内トップメーカーとして業界をリードしています。
プラスチックの活用はますます裾野を広げる中、プラスチック応用技術を通して、活力ある産業社会、心豊かな生活文化の創造に貢献しています。
「人と暮らしに役立つ、新しいモノづくり」これが私たちの恒久のテーマです。

新たな発想で生まれた高性能・低価格大型機
FVシリーズ (FV9000, 9100, 9200, 9400)



NISSEI

日精樹脂工業株式会社

■名古屋営業所／愛知県小牧市外堀2-167 ☎(0568)75-9555(代)

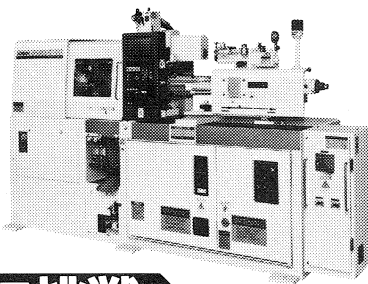
■岡崎出張所／愛知県岡崎市長六名4-1-8三剛ビル1F ☎(0564)52-1430 ■三重出張所／三重県津市神戸横田203-4 ☎(059)224-0716

■本社・工場・研究開発センター／長野県坂城町南条2110 ☎(0268)82-3000(大代表)

■東京事務所 ■テクニカルセンター／本社・相模原・岩槻・名古屋・大阪 ■営業所/全国11カ所／出張所/全国19カ所 ■海外サービスステーション／28カ所
●<http://www.nisseijushi.co.jp>

MEIKI

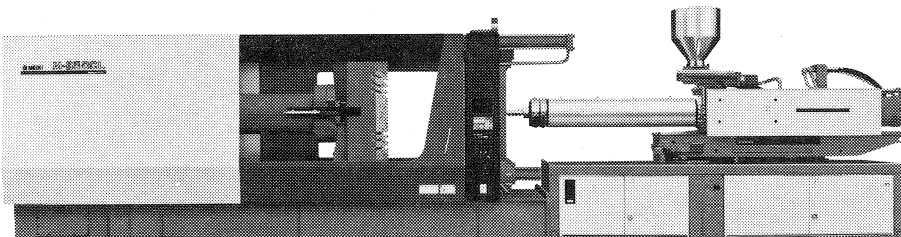
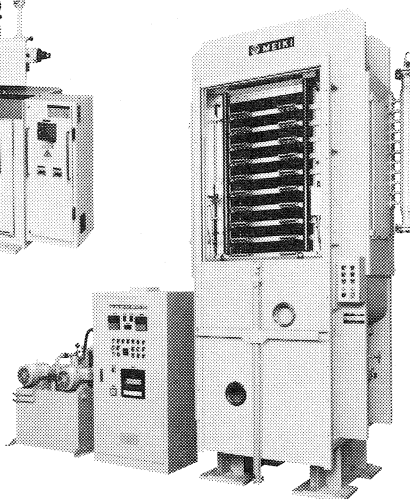
DVD専用機



ハイテクノロジーに挑戦

プラスチック、光ディスク (DVD) 射出成形機、
IC基板成形プレス等、先端技術加工機を生産して、
世界の名機として活躍しています。

IC基板成形プレス



プラスチック射出成形機

 株式会社 **名機製作所**

本社・工場 〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎<0562>48-2111(代)
中部支店 〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎<0562>47-2391(代)
岐阜出張所 〒501-61 岐阜県羽島郡岐南町上印食8-104 ☎<058>247-2674

化学の、もっと大きな可能性へ。

私たちがめざすのは、新しい時代の化学会社。

よりグローバルに、よりダイナミックに、もっと大きな可能性を求めて、

三菱化学は世界の期待に応えます。

三菱化学

▲三菱化学株式会社 東京都千代田区丸の内2-5-2 〒100(三菱ビルディング) Telephone:03-3283-6274(ダイヤルイン)

ShinEtsu 信越PVC

生活用品からエレクトロニクス材料まで——信越PVC

P.V.C.

信越化学工業株式会社 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館)
☎(052)581-0651

くらしのこだわり…

HOME &
HOME

-RISU BASIC-

リス株式会社
croissant

より洗いやすく、より快適に。

キッチンウエアはいつも清潔にしておきたい。

そんな要望にお応えして、リスは「より洗いやすい」形状と素材を開発しました。

キッチンウエア 3つの Point

ポイント
1

汚れ防止加工

台所の汚れが付きにくく落ちやすい
特殊加工の素材を使用しています

ポイント
2

洗い易いカタチ

余分な凹凸を無くし、洗浄がラクラク

ポイント
3

抗菌 めめり防止加工

半永久効果持続、無機系抗菌剤だから安心

リス株式会社

岐阜プラスチック工業株式会社

岐阜プラスチックグループ

●本社：岐阜市神田町9丁目25番地
TEL：<058>265-2233

●リスパック株式会社 ●リスエンジニアリング株式会社
●リス株式会社
●リス興業株式会社